

7-1. NAT の実際の入力例 1

記入例のための事例 1

NAT 活用理由

Xちゃん（女児 5歳）に関して、虐待の疑いと生活面での指導の行き詰まりの検討

問題の経過（保育士の記録から）

Xちゃんは、1歳の時に両親が離婚し、現在は父方の祖父母と父親の4人で暮らしている。農家を営む父親は、経済的に安定しており、住居などの生活環境も良い。地域の保健師は、幼少期から子育てをほぼ祖父母が担っていると把握しており、乳幼児健診では、子育てに関して無関心な様子が見られた、との記録が残っている。また健診会場では、着替えなどに手間取った際に、祖父母がたたいて叱っていた様子が目撃されている。Xちゃんは、1歳半の時の健診で、若干の言葉の遅れが指摘されている。3歳の時の健診の記録には、言葉の遅れに加えてしつこいほどのものや食べ物へのこだわり行動と、落ち着きのなさが記されている。またそれに対してXちゃんの祖母は「厳しくしつけているので心配ないです」と答えており、特に発達相談などは実施していない。

保育所に入園後は、食事や排泄といった基本的な生活習慣がうまくできないことが課題とされていた。自由遊びの時間も保育士の陰に隠れ、積極的に遊べなかったことなどから、保育士の間では何かと話題に挙がることが多い子どもであった。また保育士の「ご飯食べる前には何をやるのかな？」といった問いかけに対して、オウム返しに返答することもあった。4歳後半の時期には時折お漏らしをするようになり、かんしゃくを起こすことやパニックを起こすことも多くなった。一方で、調子の良い時には通常の活動ができ、また字を書いたり読んだりすることができた。この頃から衝動的に他児に手が出るのが目立ってきたので、月に一度来ている心理士に相談したところ「ADHDが疑われるような行動がみられるので、一度医療機関の診察を受けてみてはどうか」という意見であった。

その後、Xちゃんは交通事故に遭い3ヶ月ほど入院することとなった。その間は保育士が週に一度のペースでお見舞いに行っていたが、病院には父親も祖父母もいないことが多く、Xちゃんは看護師と遊んでいることが多かった。

無事にXちゃんは退院したが、時期を同じくして体調を崩した父親が、長期間にわたり入院することとなった。Xちゃんは祖父母に連れられて保育所に来るようになったが、時には一人で歩いて登園してくることもあり、朝食を摂っていないこともあった。

ある保育士が、保育所に戻ってきたXちゃんの前歯が欠けていることに気がついた。そこで祖父母に問い合わせたところ「事故でなくなりました」との返答だったが、事故の時に見舞いに行った保育士によると入院時には歯は欠けていなかったとのことである。

事故の後から、園の中で集団にうまく入っていけない場面が頻繁にみられるようになり、また他児に乱暴を働く場面も以前より多くみられるようになっていった。それに対して保育士が叱ると、そのまま動きが止まり全く身動きができなくなってしまうこともあった。 またある昼食時にXちゃんが唐突に立ち上がり、「僕の分がないよ」と泣き叫ぶことがあり、保育士が驚くこともあった。

Xちゃんが5歳の時に、近所からひどい泣き声がするということで児童相談所に虐待の疑いの通報があり、児童相談所の職員がXちゃんの自宅を訪問した。その時には祖父母が対応し、しつけの一環で手を挙げたことはあるが、しっかりと育てているので問題はないとのことだったために、その時は特に保護や相談などには繋がらなかった。その後父親が家に戻り、Xちゃんの様子は少し安定したものとなった。



フェイスシート I

アセスメント作成日 平成22年12月01日

作成者 システム管理者

対象児

フリガナ	イクスチャン	生年月日	2005年 1月14日
名前	Xちゃん	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 不明
現住所	札幌市北区		
連絡先	000-111-2233		

保護者 I

名前	Xちゃん父	続柄	実父
連絡先①	住所	札幌市北区	
	電話	000-111-2233	
連絡先②	住所		
	電話		

保護者 II

名前	Xちゃん祖父	続柄	祖父(実・義理を含む)
連絡先①	住所	札幌市北区	
	電話	000-111-2233	
連絡先②	住所		
	電話		

家族構成

続柄	名前	居住	年齢	備考
実父	Xちゃん父	同居	36	
祖父(実・義理を含む)	Xちゃん祖父	同居	61	
祖母(実・義理を含む)	Xちゃん祖母	同居	60	

家族構成・関係に関する特記事項

本児1歳の時に母と離婚

アセスメント結果票 (特定されたニーズ・ストレングス)

アセスメント作成日 平成22年12月01日

00000001 Xちゃん

作成者 システム管理者

子どもの発達	ニーズ	<p>[健康] 身体状況 4歳半ごろからおもらしをするようになった</p> <p>[健康] 精神の状態 オウム返しの返答が見られた</p> <p>[健康] 精神の状態 かんしゃくやパニックを起こすことがある</p> <p>[健康] 精神の状態 心理士からADHDの可能性について指摘されている</p> <p>[健康] 健診・受診状況 1歳半の健診で若干の言葉の遅れが指摘されている</p> <p>[健康] 健診・受診状況 三歳の健診で、言葉の遅れ、しつこいほどの食べ物へのこだわり、落ち着きの無さが指摘されている</p> <p>[情緒・社会・自我] 所属感(いじめ、差別) 事故後、保育所の中の集団にうまく入っていけない場面が増えた</p> <p>[情緒・社会・自我] 友人関係 自由遊びの時間に保育士の陰に隠れて、積極的に遊べなかった</p> <p>[情緒・社会・自我] ストレスコーピング 保育士に叱られたときに、動きが止まり固まってしまう</p> <p>[行動発達] 生活習慣 食事や排せつといった基本的習慣が保育所入所時はできていなかった</p> <p>[行動発達] 衝動、自傷、多動、強迫、強いこだわり、注意の持続 衝動的に他児に手が出ることもある</p>
	ストレングス	<p>[学習] 進捗・到達度 文字を書いたり読んだりすることができる</p>

アセスメント結果票 (特定されたニーズ・ストレングス)

アセスメント作成日 平成22年12月01日

00000001 Xちゃん

作成者 システム管理者

保護者の力量	ニーズ	[基本的養育] 適切な食事 [基本的養育] ケアの質 [基本的養育] ケアの質 [情緒的ぬくもり] DV・虐待 [情緒的ぬくもり] DV・虐待 [情緒的ぬくもり] DV・虐待 [保護者の健康] 両親間の関係性 [指導] 自立(過保護・過干渉)	祖父母が朝食などを本児に用意しない場合があった 本児が入院中に、父親も祖父母も見舞いが少なかった 本児が保育所に一人で来る時があった 着替えなどに手間取った際に、祖父母が子どもに手をあげている 子どもの歯が欠けている 虐待通報を受けている 1歳の時に母親が離婚して家を出ている 祖母から厳しくつけられている
	ストレングス	[基本的養育] 健診・予防接種の状況 [情緒的ぬくもり] 子どもへの愛情	乳幼児健診は受診させている 父親が家にいると、家庭環境が安定する

アセスメント結果票 (特定されたニーズ・ストレングス)

アセスメント作成日 平成22年12月01日

00000001 Xちゃん

作成者 システム管理者

家庭環境・ 地域環境	ニーズ	[家族構成] 家族の疾患・障害 [家族構成] 親戚などの支援 [地域資源] 公的支援	父親が体調を崩して長期間入院した時期がある 祖父母が子育てに参加している 保健師が一家とかかわっている
	ストレングス	[家族構成] 親戚などの支援 [住宅環境] 住居の種別 [経済・労働] 所得・支出 [地域資源] 近隣との関係	祖父母が子育てに参加している 質の良い家に住んでいる 農業を営んでおり、経済的に安定している 近所から児相へ虐待通報があった

アセスメント結果票 (特定されたニーズ・ストレンクス)

アセスメント作成日 平成22年12月01日

00000001 Xちゃん

作成者 システム管理者

結論

<子どもの発達>
乳幼児健診などで言葉の遅れ、こだわり行動などが指摘されており、発達面に関して何らかの偏りや遅れが想定される。しかし後述するように不適切な養育環境にある可能性も疑われ、発達面の偏りを想定した一連の言動も、養育環境に起因することが十分に想定され、診断には、慎重な判断が求められる。
一方で、保育所のエピソードからは、Xちゃんの成長が認められる部分もあり、良い面を伸ばしていく取り組みも重要と思われる。なお、交通事故後に、叱られたことで動きが固まるといった、PTSDを想起させるエピソードが見られている。

<親の力量>
Xちゃんの父親が病気で入院してからは、保育所の送り迎えや食事の面、さらにつけに関して行き過ぎた面があり、祖父母による不適切な養育が行われている可能性がある。さらに歯が欠けているエピソードもあるために、身体的な虐待に繋がる可能性もあるために、十分な注意が必要である。また、父親の体調が不安定な点も、リスクとなる。この父親が居る時にはXちゃんの様子が安定していること、経済的に問題がないこと、保育所に継続的に通えていることなどは、ストレンクスであると考えられ、今後も大切にしたい点である。

<家庭環境・地域環境>
保育士が熱心にXちゃんとかかわっている。また近所から一度虐待通報があったことから、地域住民との関わりがあることが推察される。一方、児童相談所や医療機関との繋がりは、現時点ですべてできていないために、家庭を支える連携が手薄であるといえよう。

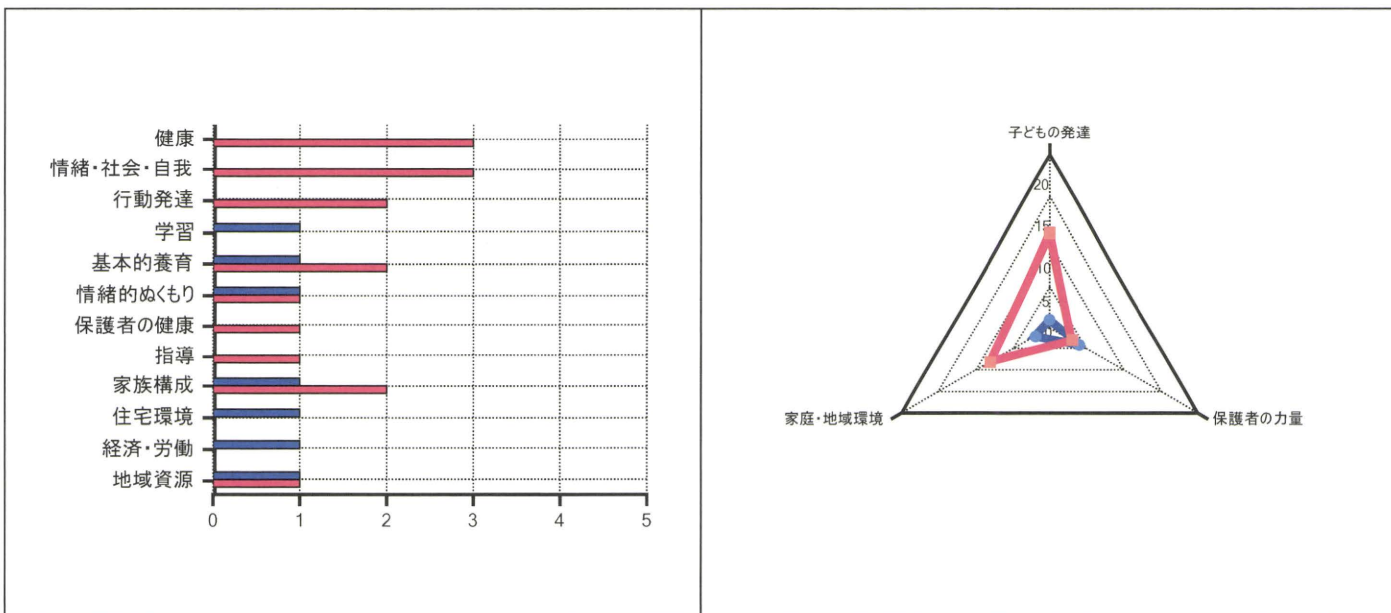
支援内容

中心となる機関は保育所で、今後もXちゃんの心身状態を注意深く観察、確認し、必要があれば父親と祖父母へ連絡を取り合うことが求められる。

児童相談所職員、健診などの担当だった地域の保健師、保育所を担当している心理士、保育所の保育士などは、定期的な多職種カンファレンスに参加し、親の養育状況について確認し合うことが望ましい。

養育者の承諾を得たうえで、関係者は、就学予定の小学校とも事前に連携・連絡し、Xちゃんが就学する際には、出来る限りの情報交換を行い、養育者と学校とが良好な関係を構築できるように検討することが求められる。

父親や祖父母が安心して子育てできるように、適宜相談が受けられる専門職を設定する必要がある。現状では保育士がその役割を果たしてはいるが、今後Xちゃんのライフステージに合わせて、多職種カンファレンスで検討していく必要もある。



アセスメント結果票 (特定されたニーズ・ストレングス)

アセスメント作成日 平成22年12月01日

00000001 Xちゃん

作成者 システム管理者

対処方法・行動計画(優先する順位で記載)

本児の記録を残し、次回のカンファレンスに提出する	期限	2010年12月10日	
	機関	保育所	
	担当者	サトウ	
	状態	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
保育所、児童相談所、就学先の小学校の担当者を集めて、カンファレンスを実施する	期限	2010年12月14日	
	機関	北海道大学	
	担当者	田中	
	状態	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
父親、祖父母を訪問し家庭内の状況や養育状況について確認する	期限	2010年12月15日	
	機関	児童相談所	
	担当者	伊藤	
	状態	<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 未完了
	期限		
	機関		
	担当者		
	状態	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
	期限		
	機関		
	担当者		
	状態	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
	期限		
	機関		
	担当者		
	状態	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
	期限		
	機関		
	担当者		
	状態	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
	期限		
	機関		
	担当者		
	状態	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
	期限		
	機関		
	担当者		
	状態	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了

モニタリング実施日	モニタリング参加者
2010年12月15日	田中

7-2. NAT の実際の入力例2

記入例のための事例2

NAT 活用理由：授業に集中できず、虐待も疑われるケース検討

事例： I 君，男子，小学校4年生，10歳

【問題の経過】（小学校4年時の担任の記録から）

I 君は，父親（36歳），母親（36歳），本児，妹（6歳）の4人家族で生活している。父親は会社で経理の仕事を行っており，定期的な安定した収入がある。母親は事務仕事をパートで行っている。この家族は，比較的高価なマンションに住んでいる。地域柄からか，近所付き合いはほとんど見られないが，偶然出会えばあいさつはされる。両親ともに地方出身なので，この家族の詳しい様子を知る周囲はいない。母親は，表情が硬く，とっつきにくく，ガードが堅いという印象がある。学校行事などの際に親しくしている母親仲間はおらず，相談相手もないようだ。I 君の幼稚園時代の記録からは，「落ち着きがなく，指示通り動くことができない面が見える」とのことだが，とりたてて大きなトラブルは記載されていなかった。

小学校入学時より授業に集中することが苦手で，個別の注意を受けることが多かった。学習面では取り組み始められるが，注意集中を持続することは困難で，学習課題を一人で終えることが難しく，一貫して担任の援助が必要であった。

小学校2年時に，教師からの本児への特別扱いに対して，クラス内でのからかいがあり，時には集団でのいやがらせにまで発展することもあったそうだが，担任が解決したという。

小学校4年生時にクラス替えがあり，新しい担任に対して反抗的な態度をとる生徒が何人かこのクラスに集まったことで，互いに刺激し合い，より授業への注意集中が困難になっていった。授業中の不安定な雰囲気をつきかき I 君が立ち歩く回数は増え，授業成立に困難をきたすようになった。7月には，授業中に周囲から「で～ぶ」「ば～か」とからかわれたことをきっかけに I 君は教室を抜け出し，2階の廊下から1階に小さな物（プラスチックの植木鉢）を落としてしまった。また，休み時間に2階のベランダの鉄柵に上がろうとし，担任が「落ちたら絶対にダメ，死んでしまったらお母さんも悲しむよ」と言うと「いいんだ，どうせいつも死んでしまえばいいのと言ってるから」と言う。このようなことが立て続けに起こったので，担任から保護者（母親）に報告し，担任の紹介により母親が専門相談機関へ相談することになった。

専門相談機関が，子どもの知能検査（WISC-Ⅲ）を実施したところ，I 君は平均的な知能は持ち合わせているが，個別の能力に大きな差があることが判明した。また言語表現は得意だが，図形の特徴を把握し，理解する力が不得意であり，板書の書き取りや，漢字学習などに困難をきたしやすいことがわかった。漢字学習では，図形の特徴を言葉で定義づけて覚えることを助言した。

子どもと相談員の1対1面接では、非常に人懐っこく、初回面接で「僕、父さんに殴られるんだ」と話をするなど、なれなれしさの中で警戒心の少なさも見られた。

運動は苦手さがあるにも関わらず、「僕、こんなの簡単にできちゃうよ」など大口をたたくことが多く、今までにやったことのない明らかに難しいことに挑戦しようとして失敗して落ち込むことも多かった。一度、生まれて初めて卓球に挑戦した時は、一度うまくリターンできなかったことで、「もうダメだ」「僕は何をやってもダメなんだ」「僕なんて、いなくなったっていいんだ、(掃除機を指さし)僕、この掃除機になりたい」と極端に自虐的な言動を繰り返し、やる気を無くしてしまう様子が見られた。自信のなさや、安定した心情を保って行動することに困難があるように見受けられた。

また、専門相談機関での母親との相談過程で、「父親は妹のことは可愛がるが、本児に対しては厳しく、時には躰から暴力的になってしまう」ことが明らかとなった。父親は、性格上、怒り出すと一回殴るまで止まらない面があるという。

父親の暴力は、母親に対しておよぶこともある。新婚当初から夫婦喧嘩の際に殴られることがたびたびあり、それは不定期ながら現在まで続いているようだ。1回殴ると気が落ち着くので、大きな怪我にまで至ることはないが、子どももその場面に居合わせ目撃している。また、本児が小学校入学前に、父親は仕事でつまづくや2～3日家に帰って来ないという事が何度かあったようだ。

ある日、本児が、目の下に大きな青あざを残していたので、学校へ母親を呼び出し話を聞いた。このときは、I君が宿題をやっていなかったことに対して父親が叱り、殴ってしまったためにできた傷とのことだった。学校としては、このようなことがあった場合、児童相談所へ通告しなくてはならないという法律があることを説明し、児童相談所との連携を申し出て承諾を得た。

専門相談機関と学校とで話し合いを行い、この子の抱えている問題が非常に大きいと判断し、多職種との連携会議で情報共有することに至った。



フェイスシート I

アセスメント作成日 平成22年12月29日

作成者 システム管理者

対象児

フリガナ	アイケン	生年月日	2000年 6月13日
名前	I君	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 不明
現住所	札幌市北区北11条西42丁目		
連絡先	011-100-10**		

保護者 I

名前	I 君父	続柄	実父
連絡先①	住所	札幌市北区北11条西42丁目	
	電話	011-100-10**	
連絡先②	住所		
	電話		

保護者 II

名前		続柄	
連絡先①	住所		
	電話		
連絡先②	住所		
	電話		

家族構成

続柄	名前	居住	年齢	備考
実父	I君父	同居	36	
実母	I君母	同居	36	
本児の実の兄弟	I君妹	同居	6	

家族構成・関係に関する特記事項

アセスメント結果票 (特定されたニーズ・ストレングス)

アセスメント作成日 平成22年12月29日

00100060 I君

作成者 システム管理者

子どもの発達	ニーズ	[健康]	運動スキル	運動は苦手なほうである	
		[健康]	精神の状態	失敗すると激しく落ち込み、自虐的な言動を繰り返してしまう	
		[健康]	精神の状態	失敗をきっかけに取り組む気力を失ってしまう	
		[健康]	コミュニケーションスキル	警戒心が少ないように感じる面がある	
		[情緒・社会・自我]	友人関係	小学校2年の時に、クラス内でからかひいやがらせに遭った	
		[行動発達]	衝動、自傷、多動、強迫、強いこだわり、注意の持続	衝動的に教室を抜け出し、物を投げてしまったことがある	
		[行動発達]	衝動、自傷、多動、強迫、強いこだわり、注意の持続	注意集中の持続に困難がある	
		[学習]	理解・推理・解決能力	図形の特徴を把握し、理解する力は不得意	
		[学習]	参加の状況	授業に集中できずに、立ち歩くことが頻繁に見受けられる	
		[学習]	モチベーション	学習に対しての集中力の維持が不安定	
		ストレングス	[健康]	健診・受診状況	健診等は問題なく受診している
			[健康]	コミュニケーションスキル	大人との1対1の関係では、人懐っこい
			[学習]	理解・推理・解決能力	平均的な知能は持ち合わせている (WISC-III)
			[学習]	理解・推理・解決能力	言語理解は得意

アセスメント結果票 (特定されたニーズ・ストレングス)

アセスメント作成日 平成22年12月29日

00100060 I君

作成者 システム管理者

ニーズ	[情緒的ぬくもり]	DV・虐待	父親から本児への暴力がある
	[情緒的ぬくもり]	DV・虐待	父親から母親への暴力がある
	[情緒的ぬくもり]	DV・虐待	父親が叱ったために、目の下に大きな青あざができていたことがあった
	[保護者の健康]	両親間の関係性	父親からの暴力などがあり、夫婦間はあまりうまくいっていない。
	[保護者の健康]	保護者の他者との関係性	母親は、親しくしている仲間はいないようだ
ストレングス	[基本的養育]	適切な食事	適切に食事などは与えられている
	[基本的養育]	衛生状態	衛生状態も問題ない

アセスメント結果票 (特定されたニーズ・ストレングス)

アセスメント作成日 平成22年12月29日

00100060 I君

作成者 システム管理者

家庭環境・ 地域環境	ニーズ	[家族構成] [地域資源] [地域資源]	親戚などの支援 近隣との関係 近隣との関係	両親ともに地方出身で、親戚などの支援が受けづらい 近所づきあいはほとんどない 母親が親しくしている母親仲間は居ないようだ
	ストレングス	[住宅環境] [経済・労働]	住居の有無 就業・失業状況	持ち家のマンション 父親は安定した収入がある

結論

<子どもの発達>
 平均的な知能は持ち合わせており、苦手な面も本人の工夫でカバーすることが可能である。しかし、授業への集中力の欠如と、間違えることや出来ないことへの不安の高さがうかがえた。
 気持ちが揺れてしまうと、非常に自虐的な発言をすることから、安定した自尊感情が育っていないものと見受けられる。こうした情緒面での不安定さが、学習課題の習得をも困難にしていると推測できる。

<親の力量>
 定期的な収入が保たれており、送り迎えや食事の面など、しっかりと養育されているようだが、いざ内情を聞くと暴力性を帯びた不適切な養育エピソードを認め、心理的には非常に不安定で特に自尊感情を育む上では、不適切な養育環境である。

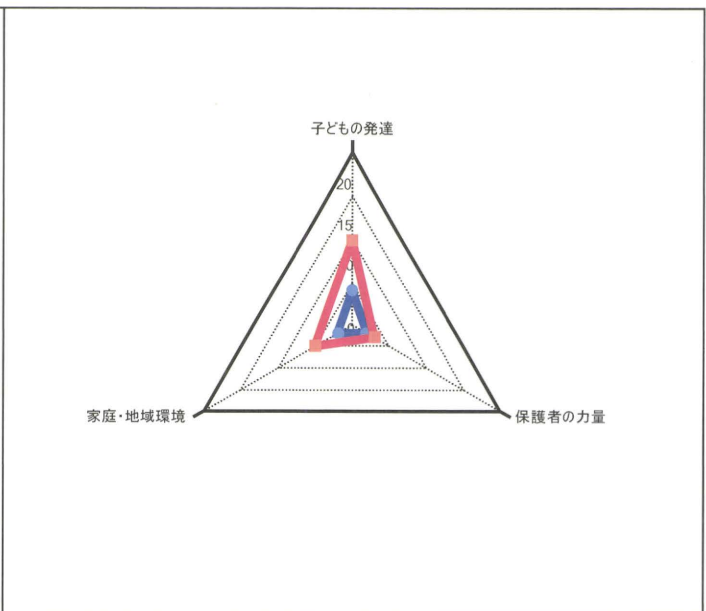
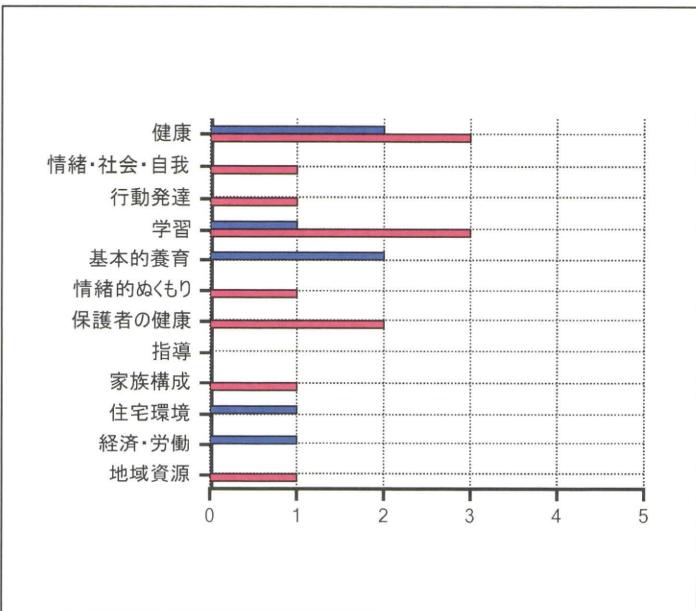
<家庭環境・地域環境>
 両親とも、実家の両親との交流が薄く、地域からも孤立しがちでかかわりが薄いことがうかがわれる。

支援内容

【学校】
 担任とスクールカウンセラーで連携を実施し、スクールカウンセラーは定期的に本人の面談を行うこととした。担任は、「がんばりカード」を作成し、うまく授業に集中した時にシールを貼るなど、肯定的にフィードバックし、集中力を高めるように試みることにした。

児童相談所の担当は、母親との面談を実施することとした。

定期的に多職種のカンファレンスを実施し、養育状況と本人の成長を確認し合うこととした。



アセスメント結果票 (特定されたニーズ・ストレンクス)

アセスメント作成日 平成22年12月29日

作成者 システム管理者

00100060 I君

対処方法・行動計画(優先する順位で記載)

児童相談所担当者の母親面談	期 限	2011年 1月 3日	
	機 関	児童相談所	
	担当者	鈴木	
	状 態	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
「がんばりカード」によるフィードバック	期 限	2011年 1月 3日	
	機 関	学校	
	担当者	学級担任	
	状 態	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
スクールカウンセラーによる本人面接	期 限	2011年 1月 3日	
	機 関	学校	
	担当者	スクールカウンセラー	
	状 態	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
定期的な多職種カンファレンス	期 限	2011年 1月 3日	
	機 関	学校	
	担当者	副校長	
	状 態	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
	期 限		
	機 関		
	担当者		
	状 態	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
	期 限		
	機 関		
	担当者		
	状 態	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
	期 限		
	機 関		
	担当者		
	状 態	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
	期 限		
	機 関		
	担当者		
	状 態	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了
	期 限		
	機 関		
	担当者		
	状 態	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 未完了

モニタリング実施日	モニタリング参加者
2010年12月29日	

8. 資料

資料1：評価項目一覧

大項目(領域)	中項目	小項目
子どもの発達	健康	身体状況
		運動スキル
		精神の状態
		健診・受診状況
		コミュニケーションスキル
	情緒・社会的発達・アイデンティティ	自己認識
		所属感（いじめ，差別）
		友人関係
		愛着
		ストレスコーピング
	行動発達・自己管理	生活習慣
		反社会的行動
		助けを求める能力
		問題解決能力
		衝動，自傷，多動，強迫，強いこだわり，注意の持続
	学習	理解・推理・解決能力
		参加の状況
		モチベーション
		特別なニーズ
		進度・到達度

大項目(領域)	中項目	小項目
保護者の力量	基本的養育	適切な食事
		衛生状態
		医療ケア
		健診・予防接種の状況
		ケアの質
	情緒的ぬくもり	DV・虐待
		子どもへの愛情
		適切なほめ、励まし
		適切な身体接触
		子育てへの感情（負担感・充実感）
	保護者の健康	身体疾患（障害含む）
		精神疾患（知的障害，アルコール疾患含む）
		両親間の関係性
		保護者の他者との関係性
		保護者の被養育経験（教育歴も含む）
	指導（一貫性のある指導）	子どもの行動
		情緒（感情のコントロール）
		学習（学習の刺激）
		自立（過保護・過干渉）
		社会性（他者との関係）